

アクセシビリ

2017年1月10日

北星学園大学

アクセシビリティ支援室通信

第3号

北星学園大学アクセシビリティ支援室です。

新しい年を迎えました。もう今年の目標は立てましたか？

今年一年、皆さんにとって良い年となりますように。

今号は、アクセシビリティ支援室・支援教員であり、臨床心理士の佐藤祐基先生からメッセージを頂きました。



私は社会福祉学部の教員をしていますが、前職が学生相談室カウンセラーをしていた関係で、教員の仕事のかたわら、アクセシビリティ支援室において修学上の困り感をもった学生の皆さんと面談を行い、配慮事項などを共に考えています。教員の立場と臨床心理士の視点を合わせて、支援の必要な皆さんの「困っていること」を理解するように努めています。

「合理的配慮」とは、たとえば、視力が低い人に眼鏡をかけてもらうことに似ています。眼鏡をかけることを不平等であるという人はいません。身体障がいや発達障がい等をもつ学生の皆さんが支援なしで授業に臨むことは、視力の低い人が眼鏡をかけずに授業に出席しているようなものです。それでは、平等に学問を学ぶ機会が与えられていないことになります。

アクセシビリティ支援室では、その学生さんに（合理的配慮に基づく）支援が必要であると判断した場合には、大学生活に必要な支援のコーディネートをしています。

例えば、聴覚障がいのある学生さんにデジタル補聴システムやノートテイク支援を提供したり、視覚障がいのある学生さんに拡大読書器を貸し出したりなどです。又、発達障がいのある学生さんの場合、先生の指示が理解できなかったり、グループワークが苦手、レポート課題をいつも提出できない、などの困難を抱えていることがあります。

他にも、うつっぽい、教室に入れない等の悩みのある方は、特別な支援を必要としている学生さんである場合が考えられますので、どうぞお気軽にアクセシビリティ支援室に相談してみてください。





ノートテイクの中間報告会



2016年11月21日(月)、『2016年度・後期中間報告会』が開かれました。

当日は、利用学生、2016年度にノートテイクとしてサポートしている学生、障害学生支援に携わる教職員が集まりました。

利用学生、ノートテイク、それぞれの感想を发表或し、教職員からの質問、今後の改善点等を話し、意見・情報交換の場となりました。



当日の風景

★机を円形に組んでクジ引きし座席を決定。ノートテイクをスクリーンに写し出し、情報保障を行いました。

★途中で昼食(オードブルや飲み物)をとりながら和やかに進みました。

アクセシビリティ支援室

- 窓口は教育支援課③番です。
- プライバシーに十分配慮し、希望があれば面談時には個室を使用します。
- 窓口のほか、電話やメールでも相談を受付けています。お気軽にご連絡ください。

電話:011-891-2731(代表)

mail:acc-support@hokusei.ac.jp

!サポートスタッフ募集中!

利用学生を助ける学生サポートスタッフを随時募集しています。

初めての方でも大丈夫!!
講習会に参加して頂き、その後スタッフとして活動して頂きます(有償)。
ぜひ、あなたもサポートスタッフとして活躍してみませんか?

例)ノートテイク、教室移動のサポート、資料などの文字起こし、等

「アクセシ便利」は教育支援課③番窓口とA館1階掲示板前のテーブルに置いてあります。
どうぞ、ご自由にお取りください。



何かしらの支援があれば上手くいくかも・・・。
その他、障害やその他の理由で困難を感じている方、
まずはお気軽にご相談ください。

